

男女共同参画出前講座（緑が丘地区）の確認事項

<目的>

役割分業観等の慣習により女性の進出が遅れている「地域での男女共同参画」を推進するため、男女共同参画プラン推進連絡会委員協力のもと、地域で行われる集会等に出向き、講座（講演）を通じて慣習解消に向けた意識啓発を図る。

※ 一色・緑が丘地区社協部会定例イベント「緑が丘サロン」の場で実施。

<開催日時場所>

日時：平成24年 2月27日（月） 午後 2時30分～午後 4時00分

場所：緑が丘防災コミュニティセンター 集会室

<トークテーマ>

～災害時における女性の視点の重要性～

（防災分野における参画の促進プラン2 - ①より）

<タイムスケジュール／役割分担>

役割	時間	内容	担当
役場出発	13：45	送迎	事務局
集合	14：00		
事前準備	〃	会場設営	事務局、全委員
受付開始	14：15	受付、資料・アンケート配布	池田委員、原委員、高見委員
開会(司会)	14：30	開会のことば	西山委員
あいさつ	14：32	推進連絡会会長あいさつ	高橋会長
〃	14：35	地区社協部会長あいさつ	小林部会長
〃	14：38	地区長あいさつ	大城地区長
講師紹介	14：41	二宮町女性防災隊	伊藤委員
講習	14：45	AEDの使用法等	二宮町女性防災隊員
資料説明	15：15	配布資料、トークテーマ	井上委員
意見交換	15：20	フリートークコーディネート	小林委員
その他	15：50	情報提供等	事務局
閉会	15：55	閉会のことば	高橋会長
〃	〃	アンケート回収	全委員
片付	16：00	会場片付	事務局、全委員
解散	16：15		
役場到着	16：30	送迎	事務局

<出前講座の内容>

【出前講座の主旨説明】

「男女共同参画」とは、その硬い印象の言葉を耳にしたことがあっても日常生活の中で触れる機会が少なく、女性に偏った考え方だという認識を持たれがちである。しかし、国においては法制化され、町でも男女共同参画プランを制定してさまざまな分野で事業を推進していることを紹介し、身近な事柄であるということのを再認識してもらい、住み良いまちづくりを進める上で「地域での男女共同参画の推進」は重要なことであることについて説明する。

【出前講座の進め方】

今回のテーマとした「災害時における女性の視点」の中にも男女共同参画に通ずるものがあることを紹介し、安全・安心分野に関する女性の参画から地域活動全般への女性の参画に話を派生させる。また、男女共同参画の考え方には世代間での衝突もあり、急な考え方の変化にすぐに対応することは難しいという現状と、理解を図りながら少しずつ考え方を変えていくには地道な啓発活動の継続が必要であることを訴える。

【啓発する内容（案）】

- ①「普段の生活に根強く残る固定的性別役割分業意識の解消」
 - ・AEDの救命技術は老若男女を問わず必要な技術であることを通じ、緊急時に限らず、日頃から性別に捉われることのない分業意識が世界的に求められていることについて啓発する。その際、災害時における自然な役割分担を否定するものではないということは誤解のないよう伝える。
- ②「災害時における女性の視点の重要性」
 - ・災害等の緊急時の話から派生して、これまで防災の場に「女性への配慮」が欠けていた点を挙げ、実際に被災地で「トイレを分けなかったことで健康被害が出た事例」や「犯罪が発生した事例」、「授乳スペース・育児スペースが乳幼児のいる家族から求められていること」など、「女性の視点の重要性」について啓発する。
- ③さらなる女性の参画促進
 - ・これまで慣習等により女性が主体的に参画してこなかった（これなかった）分野が他にもまだまだあることを挙げ、希薄化が懸念される地域活動の場をより活発化させていくためには、男性だけでなく女性自身の積極的な参画意識が重要となってくることについて啓発を行い、身の回りのできることから実践してもらえよう働きかけを行う。